

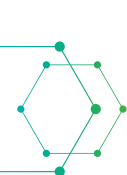
第98期 中間期 株主のみなさまへ

2021年4月1日～2021年9月30日



Contents

TOP MESSAGE	01
セグメント別営業の概況	03
持続可能な社会の実現に向けて	04
会社概要／株式の概況	裏表紙



全てのステークホルダーがより一層「ワクワクする会社」を作り上げてまいります。



代表取締役社長

谷口 幸憲

株主のみなさまには、平素より格別のご高配をたまわり、厚くお礼申しあげます。当社第98期中間期（第2四半期累計期間：2021年4月1日～2021年9月30日）の連結業績の概要をここにご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

2021年11月

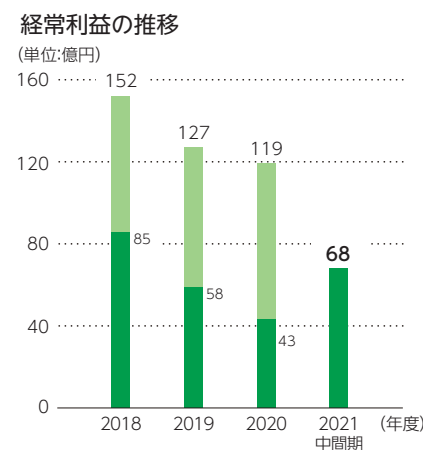
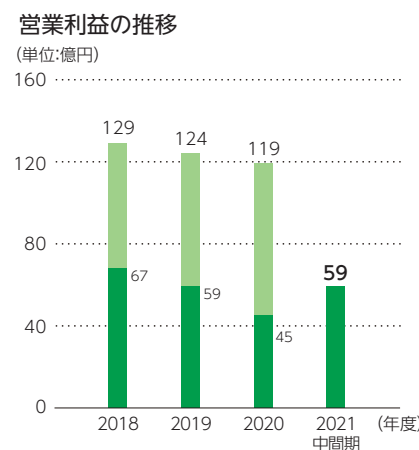
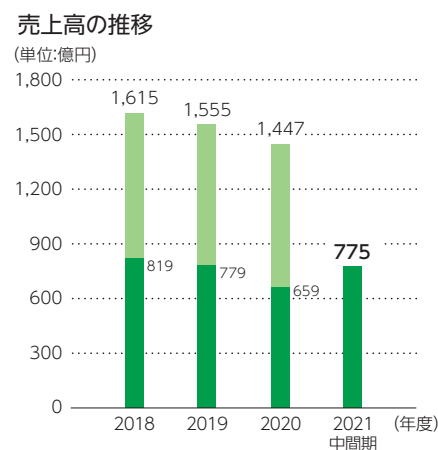
〔社 是〕
企業を通じて
よりよい社会を建設しよう



財務ハイライト（連結）

■ 中間期 ■ 通期

詳細な財務データはウェブサイトをご覧ください。



当中間期における業績について

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限が続くなか、個人消費は一進一退の状態にあり、輸出は増加基調が持続しているものの、インバウンド需要は低迷が長期化する等依然として厳しい状況が続いております。世界経済においては、中国は景気拡大に頭打ち感が見られるものの、米国・欧州はワクチン接種の進展による経済活動制限の緩和を受け景気が回復基調にあります。

化学業界におきましては、為替相場は米国の金融緩和政策の縮小開始時期に対する思惑が交錯する等一進一退の状態にあり、原料価格は原油価格の上昇や需要回復により上昇傾向にある等、事業環境は依然として予断を許さない状況にあります。

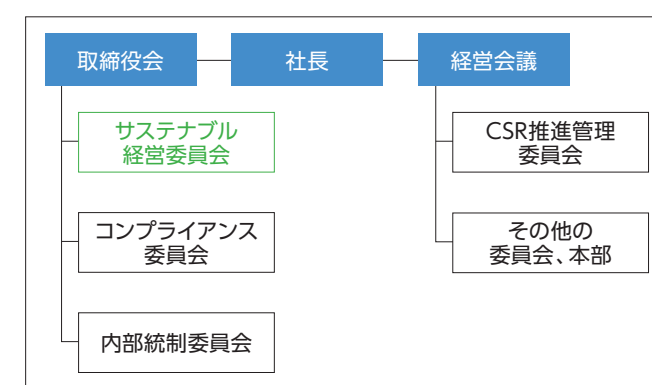
このような環境下における当中間期の売上高は775億1千9百万円(前年同期比17.6%増)となりました。利益面では、売上高の増加等により、営業利益は59億1千8百万円(前年同期比28.7%増)、経常利益は持分法による投資利益の増加等により68億6千1百万円(前年同期比56.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は44億1千8百万円(前年同期比89.6%増)となりました。

当社は、連結配当性向30%以上をめどに、中長期的な配当水準の向上を目指しております。中間配当金につきましては、株主のみなさまへの利益還元促進の観点から、本年6月に実施いたしました期末配当金から5円増配となる、1株当たり85円とさせていただきます。

サステナブル経営の取り組み

当社は、社是「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」のもと、社会的価値と経済的価値の創出を両立し、環境や社会と調和しながら持続的に成長することを目指しています。2021年4月にサステナブル経営委員会を設置し、当社グループのサステナビリティに関する活動の方向性を定め、サステナブル経営をグループ一体となって推進しています。

当社の持続可能な社会の実現に向けた取り組みにつきましては、本冊子のP.04～P.06をご覧ください。

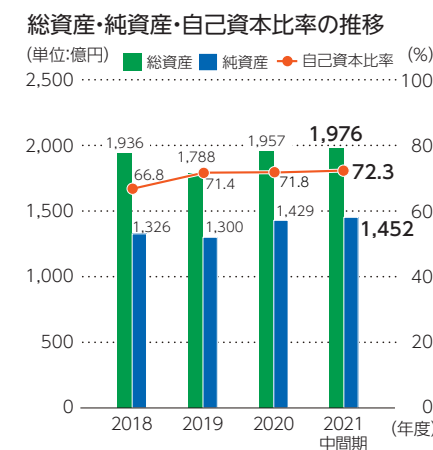
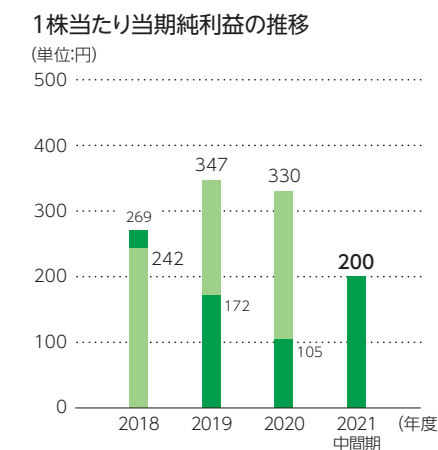
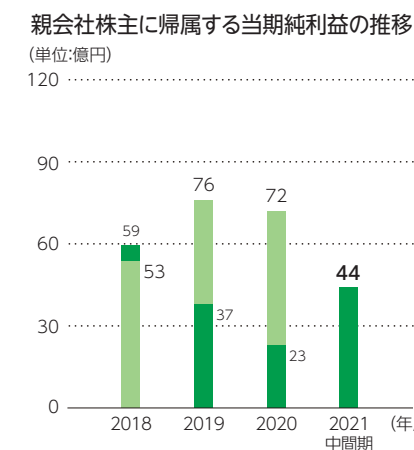


株主のみなさまへ

当社は、従業員一人ひとりが自分らしさを大切にしながら誇りと働きがいを感じることができ、多様な価値観を尊重する職場環境づくりを経営の重点事項と位置づけ、様々な施策に取り組んでまいりました。社内改革として、風通しの良い職場風土の醸成、女性活躍推進及び性的マイノリティ (LGBTQ) への理解促進を通じての多様性の実現、従業員の心身の健康に関する取り組みや活動に注力した

健康経営を積極的に進めてまいりました。

これらに加え、従業員一人ひとりが会社的主役として高いモチベーションで常に新しいことに挑戦し、今までにない付加価値を絶えず生み出し成長することで、全てのステークホルダーがより一層「ワクワクする会社」を作り上げてまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

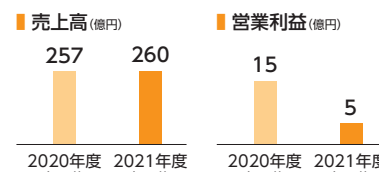


セグメント別営業の概況



生活・健康産業 関連分野

売上高
260億円
前年同期比 **0.9%増**



【生活】ポリエチレングリコールが国内外ともに売り上げを伸ばし、また製紙関連薬剤が回復したことにより、売上高は大幅に増加。

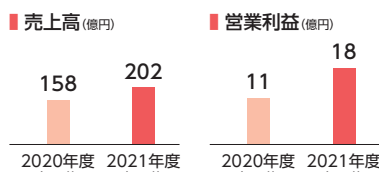
【健康】高吸水性樹脂が主力の中国市場において顧客での急激な生産調整により一時的に販売が落ち込み、売上高は減少。

- 主な製品
- 洗剤・洗浄剤用界面活性剤
 - ヘアケア製品用界面活性剤
 - 高吸水性樹脂
 - 医薬品原料



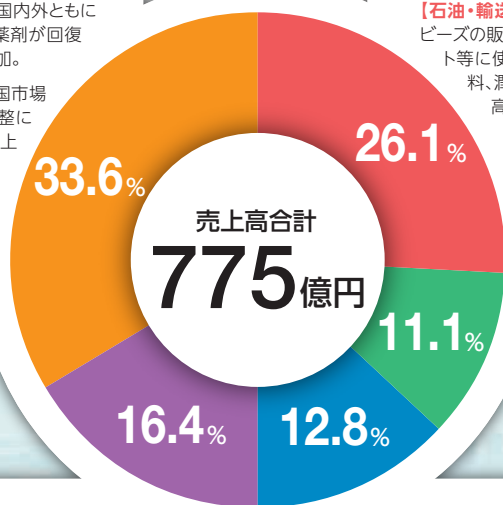
石油・輸送機産業 関連分野

売上高
202億円
前年同期比 **27.9%増**



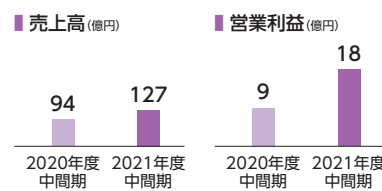
【石油・輸送機】自動車内装表皮材用ウレタンビーズの販売が横ばいとなったが、自動車シート等に用いられるポリウレタンフォーム用原料、潤滑油添加剤が好調に推移し、売上高は大幅に増加。

- 主な製品
- 自動車内装表皮材用ウレタンビーズ
 - ポリウレタンフォーム用原料
 - 潤滑油添加剤



プラスティック・繊維産業 関連分野

売上高
127億円
前年同期比 **34.3%増**



【プラスティック】主力の永久帯電防止剤が引き続き好調に推移したことに加え、塗料コーティング用薬剤・添加剤、塗料用バインダーとして使われる樹脂改質剤も海外向けの需要が回復し、売上高は大幅に増加。

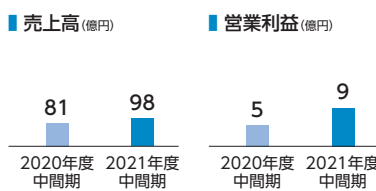
【繊維】炭素繊維用薬剤が売り上げを伸ばし、また自動車に使われる合成皮革・弾性繊維用ウレタン樹脂、タイヤコード糸等の製造時に使用される油剤の販売が好調に推移し、売上高は大幅に増加。

- 主な製品
- 永久帯電防止剤
 - 樹脂改質剤
 - 炭素繊維用薬剤
 - 顔料分散剤
 - 塗料用樹脂



情報・電気電子産業 関連分野

売上高
98億円
前年同期比 **20.7%増**



【情報】重合トナー用ポリエステルビーズの販売が横ばいとなったが、粉砕トナー用バインダーの販売が好調に推移し、売上高は大幅に増加。

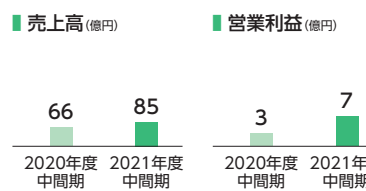
【電気電子】ディスプレイ用樹脂の販売が大幅に増加し、売上高は好調に推移。

- 主な製品
- 重合トナー中間体
 - トナーバインダー
 - アルミ電解コンデンサ用電解液
 - 電子部品製造工程用薬剤



環境・住設産業 関連分野

売上高
85億円
前年同期比 **29.9%増**



【環境】高分子凝集剤用のカチオンモノマーが売り上げを伸ばし、売上高は好調に推移。

【住設】国内外の需要が回復し、建築シーラント用原料及び家具・断熱材等に用いられるポリウレタンフォーム用原料の販売がともに好調に推移し、売上高は大幅に増加。

- 主な製品
- 家具・断熱材用ポリウレタン原料
 - 建築シーラント用原料

持続可能な社会の実現に向けて

多様な価値観を尊重する職場づくりを目指して ～DEI (Diversity, Equity & Inclusion) 推進の取り組み～

関連するSDGs



当社は、全ての従業員が自分らしさを大切にしながら、安心して働きやすい企業を目指して、働き方改革や、人材の多様化と、全ての人権や多様な価値観を尊重して受け入れ活躍してもらう職場環境の実現に向けた取り組みを進めています。【女性、LGBTQ、障がい者、シニア、外国人の活躍等】

※Diversity=多様性、Equity=公平性、Inclusion=受容、を意味します

▶女性活躍推進への取り組み

「女性のためのエンパワーメント21世紀塾」への参加、 「女性ネットワークセミナー」の実施

女性のモチベーションアップ、能力向上を図るとともに、社内外の女性従業員同士のネットワーク構築を支援するため、女性従業員向け公募型社外研修プログラムへの参加や、社内セミナーを実施しています。



育休復職者支援セミナーの実施

育児休業から復職した従業員が仕事と育児を両立し、時間の制約がある中でもいきいきと働き、納得のいくキャリアを形成していく意欲を高めることや、交流会を通じた社内ネットワーク構築を支援するため、社内セミナーを実施しています。本セミナーで

は、社内外を問わずパートナー同伴可とすることで、パートナーと一緒に考える機会を提供しています。また、当社では男性の育児取得も推進しています。

▶LGBTQ理解促進の取り組み

「京都レインボープライドパレード2021」に参加

京都で初めてレインボープライドパレードが開催され、当社は協賛企業として参加しました。性的指向及び性自認に関わらず、全ての人がより自分らしく生活できる社会の実現を目指したイベントの主旨に賛同している当社では、社会全体に多様性への理解を促すことを目的に、東京・名古屋・大阪等で開催されているレインボープライドイベントにも参加しています。

LGBTQに関する出張授業に協力

当社従業員であり、LGBTQ当事者でYouTuberとして活動している「かずえちゃん」とともに、京都市の高等学校、大学でLGBTQに関する出張授業を実施しました。学生との意見交換やLGBTQに関する当社の取り組み紹介を通じて、LGBTQへの理解に加えて、全ての人が生き辛さを感じるここのない社会づくりの大切さを伝えました。



関連するSDGs



京都の伝統産業の発展を目指して

▶京都の老舗酒造メーカーと新しい日本酒造り

当社と京都市伏見区の老舗酒造メーカーの都鶴酒造株式会社は、AI技術を活用した人工嗅覚で匂いを識別する「匂いセンサー」を活用した新しい日本酒造りを目指し、共同研究を開始しました。

従来は職人の勘や経験に頼って管理していた日本酒の醸造工程において、匂いセンサーの活用により、安定した品質管理や製造工程の省力化が可能となります。

今後は、日本酒の品質安定化に加え、香りの成分の管理・計測や分析を通じた新商品開発への活用を目指します。

▶AI技術を活用した人工嗅覚「匂いセンサー」の 事業化に向けて

匂いセンサーは、当社と長瀬産業株式会社が共同で事業化に取り組んでいる人工嗅覚技術です。人間の嗅覚細胞に相当する検出器(プローブ)を複数搭載し、数多くの匂い成分を学習したAI

技術により複雑な匂いを識別します。

プローブは、当社の得意とする界面制御技術を活用した樹脂材料で構成されており、当社は、より多様な匂いの識別を可能にする高性能なプローブを開発します。

日本酒造りへの活用を皮切りに、将来は食品や香粧品のほか、汗や呼気の匂いから病気を早期に発見する医療機器への展開等、幅広い分野でのソリューション提供を目指します。

当社は、今後も地域社会と積極的に関わりを持ち、日本酒造りの課題解決をはじめ、京都の歴史ある伝統産業の発展に貢献してまいります。



再生可能エネルギーの利用拡大に向けて



APB福井センター武生工場

当社は、再生可能エネルギーの利用拡大を通じて、持続可能な社会の実現に貢献するため、持分法適用会社であるAPB株式会社（以下 APB）とともに「全樹脂電池」の開発を行っています。

全樹脂電池は、電池骨格の全てが樹脂材料で構成されてい

ます。電極の厚膜化を容易に行え、セルの大型化が可能で形状自由度が高く、安全性にも優れていることが特長であり、次世代のリチウムイオン電池として期待されています。

▶ APB福井センター武生工場の開所式の開催

2021年5月、世界初の全樹脂電池の量産工場となる「APB福井センター武生工場」の開所式を執り行いました。武生工場は、従来のリチウムイオン電池の工場と比較して製造工程で廃液が出ず、また、短時間で製造することが可能なため、エネルギー使用量を削減でき、環境への負荷を小さくすることができます。

量産当初は、特殊用途を中心に生産を開始し、その後、高エネルギー密度という特長を生かし、定置用蓄電池や各種モビリティ用途にも拡大させていきます。

当社は引き続き、全樹脂電池の開発に経営資源を投入し、APBの事業基盤の強化・発展を全面的に支援し、全樹脂電池を用いた蓄電を一例とする再生可能エネルギーの利用拡大を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



持続可能な農業を目指して

当社は、気候変動による農作物の生育への悪影響や人口増加による食料供給不足等の農業分野の課題に応えるソリューション提供を目指しています。

▶ 宮崎県新富町との連携協定の締結

当社は、数年前から農業の様々な課題に対する解決策を見出すため、農作物の生育に有用なペプチドに関する研究を進めてきました。また、宮崎県新富町は、農業従事者の高齢化、消費者ニーズの多様化等に伴い、地域農業が抱える課題の解決や新たな農業生産システムの構築に向けて様々な取り組みを率先して行っていたことから、当社と想いが一致し、2021年6月、持続可能な農業に貢献できる技術の実用化に向けて、連携協定を締結しました。

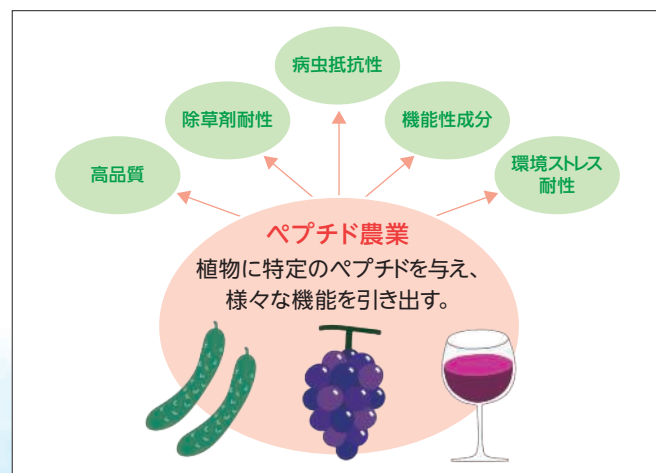
当社は、宮崎県新富町に設置した実験農場で2022年1月から複数の企業との協業を開始し、ペプチドを用いたキュウリの生育促進や果物の機能性成分量の向上、ジュースやワイン等の機能性表示食品への加工による高付加価値化等に取り組んでいきます。

▶ ペプチドを利用した新しい農業の確立を目指して

ペプチドとは、タンパク質を構成するアミノ酸が複数結合したもので、植物の代謝や生育に有用な成分です。植物に特定のペプチド

を与えると、病害虫や気候変動に対する耐性等様々な機能を引き出すことができ、農作物の収量や品質の向上が期待できます。しかし、ペプチドは製造コストが高いため、これまで農業への応用が進んでいませんでした。

当社は、得意とする界面制御技術により、ペプチドを低コストで効率よく生産できる強みを活かして、ペプチドを利用した新しい農業を確立し、農業分野の課題解決を目指してまいります。



医療の発展と人々のQOL向上を目指して



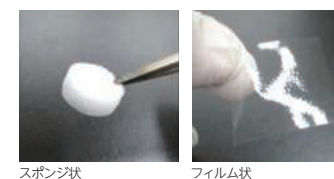
当社は、人々のQOL(Quality of Life)の向上に向けた新たなソリューション提案で社会に貢献するため、難治性の傷を治す「シルクエラスチン®」の研究開発を行っています。

▶ 慢性創傷の革新的な治療法として 2023年度中に国内上市へ

当社と京都大学は、床ずれ(褥瘡)や糖尿病が原因で生じる皮膚潰瘍等の慢性創傷の治療を目的に、シルクエラスチン®をスポンジ形状に加工した新規治療材料シルクエラスチン®スポンジの共同研究を行ってきました。

創傷が深い難治性の傷に対して、これまでは有効な治療材がありませんでしたが、2018年の下腿難治性皮膚潰瘍を対象とした医師主導治験に続き、2021年7月より有効性確認を目的とした企業治験を開始しました。

本治験データをもとに、2022年度に日本初の遺伝子組み換え技術を用いた医療機器として薬事承認申請を実施する予定で、2023年度中の国内上市を目指します。



▶ 難治性の傷を治す 人工タンパク質「シルクエラスチン®」

当社の「シルクエラスチン®」は、遺伝子組み換え技術によって作製される人工タンパク質です。シルクエラスチン®スポンジを傷口に貼ると水分と体温に反応して固まり、細菌感染や乾燥を防ぎつつ組織の再生を促します。また、細胞親和性(炎症を起こさず皮膚になじむ特性)が高く、かつ弾性(皮膚にハリを与える特性)に富み、細胞の分化・増殖の足場として適していることから様々な治療への展開が期待されています。



慢性創傷の治療の他にも、半月板の損傷・変形が一因となる変形性膝関節症の根治を目指し、広島大学と共同で治験を実施しています。

今後もバイオメディカル分野において、シルクエラスチン®をはじめとする当社でしか実現できないソリューション提案を行い、患者に寄り添い、健康、命の下支えとなることを目指してまいります。

脱炭素社会への貢献を目指して



当社は、脱炭素社会の実現を重要な経営課題の1つとして捉え、様々な取り組みを進めています。

▶ 2050年までにCO₂排出量正味ゼロを目指して

当社をはじめ化学企業は、製造工程においてCO₂を多く排出しますが、責任ある企業として当社は2050年までにCO₂排出量正味ゼロを目指し、数々の具体的な施策に率先して取り組んでいます。

例えば、生産現場に超音波カメラとサーモグラフィを導入し、設備の不具合(エアリークや蒸気漏れ等)が発生した箇所を見える化して効率的に発見、即時に対応することで、製造工程における余分なエネルギー使用の削減に努めています。

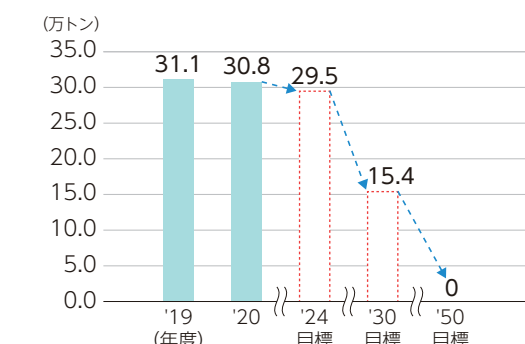
また、全樹脂電池による再生可能エネルギーの利用拡大や農業事業における生産効率向上による温室栽培での省エネといった、事業活動によるCO₂排出削減にも取り組んでいます。

このような省エネ・温暖化対策に関する組織的な取り組みの推進が評価され、2020年12月、京都市が実施する「地球温暖化

対策条例に基づく排出量削減計画制度」の特別優良事業者に選出されました。

当社は、今後も自社のCO₂排出量削減の促進を加速し、サプライチェーン全体の排出量削減に貢献してまいります。

当社グループのCO₂排出量(正味)と中長期目標





会社概要／株式の概況

概況 (2021年9月30日現在)

創立：1949年11月1日

資本金：13,051,179,427円

従業員数：1,368名 (連結2,115名)

関係会社：国内9社、海外16社

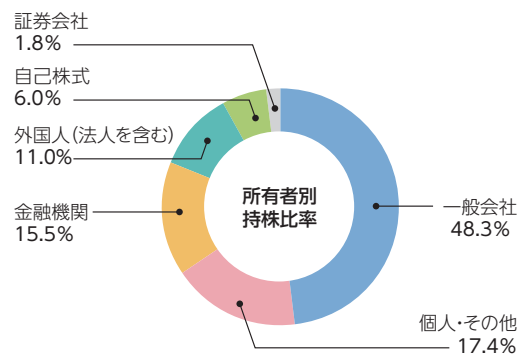
株式総数及び株主数 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数
51,591,200 株	23,534,752 株	10,446 名

役員 (2021年9月30日現在)

取締役会長	安藤 孝夫	専務執行役員	鶴田 博之
代表取締役社長 兼執行役員社長	樋口 章憲	常務執行役員	藤井 雄一
代表取締役 兼執行役員副社長	前田 浩平	常務執行役員	原田 正大
取締役 兼常務執行役員	鳴瀧 英也	執行役員	田中 敬次
取締役 兼常務執行役員	下南 裕之	執行役員	福井 正弘
取締役 兼常務執行役員	山本 眞也	執行役員	須崎 裕之
社外取締役	白井 文	執行役員	土屋 稔
社外取締役	小畑 英明	執行役員	奥 喜之
社外取締役	佐野 由美	執行役員	楡 康治
監査役 (常勤)	堀家 尚文	執行役員	宮脇 基寿
社外監査役 (常勤)	黒目 泰一	執行役員	中野 達也
社外監査役	加留部 淳	(注) 当社は、白井 文氏、小畑英明氏、佐野由美氏、中野雄介氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、届け出ております。	
社外監査役	中野 雄介		

株主構成 (2021年9月30日現在)



大株主 (2021年9月30日現在)

株主名	株式数(千株)	持株比率 (%)
豊田通商株式会社	4,286	19.4
東レ株式会社	3,826	17.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,640	7.4
株式会社日本触媒	1,105	5.0
ENEOSホールディングス株式会社	1,061	4.8
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	971	4.4
三洋化成従業員持株会	527	2.4
GOVERNMENT OF NORWAY	332	1.5
株式会社日本カストディ銀行 (信託口9)	308	1.4
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	189	0.9

(注) 1. 上記のほかに、自己株式1,418千株があります。
2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 期末配当基準日 3月31日
 中間配当基準日 9月30日
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 (電話照会先 郵便物送付先)
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
 公告掲載 当社ホームページ <https://www.sanyo-chemical.co.jp/>
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部 (コード番号 4471)

最新情報は、当社ウェブサイトをご覧ください

<https://www.sanyo-chemical.co.jp/>

三洋化成

検索



三洋化成 YouTube
公式チャンネル

https://www.sanyo-chemical.co.jp/ir_info/index.html



三洋化成公式ツイッター
@sanyochemical

当社のことを知っていただけるように、楽しくつぶやいています。



くるみマーク

2017年8月、京都労働局より「プラチナくるみ」の認定を受けました。「プラチナくるみ」は、「子育てサポート企業」として厚生労働省より「くるみ」の認定を受けた企業のうち、より高い水準の取り組みを行った企業が受けられるものです。



PRIDE指標

2019年から3年連続で、最高評価の「ゴールド」を受賞しています。PRIDE指標は、LGBTQ等に関する取り組みを評価する指標で、任意団体「work with Pride」によって策定されたものです。優れた取り組みを行っている企業を表彰し、具体的な方法を社会に広めることでLGBTQ等の性的マイノリティが働きやすい職場づくりの促進と定着を目的としています。



健康経営優良法人 ホワイト500

2019年から3年連続で、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人」に認定されました。この制度は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。



レスポンシブル・ケア®

化学物質を製造し、または取り扱う事業者が自己責任の原則に基づき、化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄に至る全過程において環境・健康・安全を確保、すなわち環境保全、保安防災、労働安全衛生、化学品安全、物流安全の5つの活動を推進し、情報開示を進め、社会との対話を行う自主活動です。